

沖縄県南城市における観光交通実施計画策定に向けた取組

発表者：松田耕司（株式会社オリエンタルコンサルタンツ）

連名：比嘉勇順、宮城要（南城市企画部観光商工課）
佐藤貴行（株式会社オリエンタルコンサルタンツ）

喜瀬斗志也（南城市企画部企画課） 小島肇（琉球大学地域連携推進機構特命准教授）
中村圭一郎、山岸 豊（株式会社アンカーリングジャパン）

1. 背景・目的

沖縄県南城市では、令和元年10月に大規模な交通再編が実施された。市外からの路線バスは交通結節点となる市役所に集約され、市内はコミュニティバス「Nバス」を新規に運行開始するなど公共交通体系は大きく変化した。このような交通再編の効果を観光側として受け、レンタカー観光が主流になっている中、多様な移動手段にどのように対応し第2次南城市観光振興計画の中で掲げている「持続可能な観光まちづくり」にどのようにつなげていくか、Nバスの観光利用（休日利用）を促進し地域としての観光交通の基盤をどのように構築・維持していくか等について具体的に検討している。

2. 南城市観光交通実施計画の策定に向けた取組

有識者による意見や観光客が求めることを的確に捉えたうえで計画を策定するため、「基本調査」を実施するとともに、観光交通のニーズについて確認するためのフィールド調査を実施した。

＜調査から分かったこと＞ ※一部記載

- * 南城市内を訪れる日本人観光客のうち、県外客については8割がレンタカーを利用している。
- * レンタカー利用者の中に、「もし公共交通の利便性が高く、情報がわかりやすければ利用したい」という意向がみられた。
- * 公共交通を利用した観光を促進するうえで必要な取組・整備として、市内における観光地間の移動、市外の交通拠点（那覇空港）や市外の観光地とのアクセス利便性の向上に関する要望がみられた。

市内関係者による観光交通検討ワーキングを組成し、ワークショップ形式で目標やビジョン、盛り込むべき施策等について検討した。また、ワーキングで挙げられた意見を有識者等による委員会で共有し、検討を経て、南城市観光交通実施計画を策定した（令和元年度）。



3. 南城市観光交通実施計画の施策

第2次南城市観光振興計画の基本理念を受け、「暮らすような旅を楽しめるまち／ウェルネス・カルチャーリゾート南城市」をビジョンとして掲げ、観光視点から多様なニーズに即したモビリティを導入し、Nバスを含めて南城市らしさを満喫してもらうための施策を5つの基本方針、12の基本施策、25の具体的取組として纏めた。

▼南城市観光交通実施計画の施策体系

基本方針	施策	具体的な取組内容	基本方針	施策	具体的な取組内容	
基本方針1 使う	施策1. 市民、事業者、行政の意識の醸成および利用の実践	取組①：市民の公共交通等による市内観光の促進	基本方針3 併せる	施策8. 観光と交通がセットになった商品やサービスの開発	取組⑭：周遊バスやバスパック等の開発	
		取組②：「ポタま〜い」イベントの継続開催			取組⑮：ナイトツーリズムやウェルネスプログラムと連携した移動手段の構築	
	施策2. 観光ニーズに対応したサービスの拡充	取組③：手ぶら観光の推進			取組⑯：ツアーバスや観光タクシーの促進	
		取組④：移動と観光のキャッシュレス対応、デジタルチケット等の導入		取組⑤：バス車内、バス停等における観光案内等の充実	取組⑰：最新のICT技術を活用したシームレスな観光交通の提供	
				取組⑥：バス待ち環境に関する快適性の向上、環境整備	取組⑱：AIによる観光交通案内の導入	
	施策3. 移動中や待ち時間の案内の充実、環境整備	取組⑦：まちの美化活動の実施		取組⑲：ライドシェアや自動運転等の新しい仕組みや技術に対する調査研究		
		施策4. 観光利用を意識した新たな交通の導入		取組⑧：那覇空港と南城市内を直接結ぶアクセス交通の導入による市内観光周遊の促進	基本方針4 魅せる	施策10. 観光交通に関する情報の見える化の推進
取組⑨：市内の観光資源を結ぶ観光交通の導入	取組㉑：観光2次交通情報に関するオープンデータ化の推進					
基本方針2 創る	施策5. 環境にやさしいエコモビリティの導入	取組⑩：観光資源を回遊する小型EVやグリーンスローモビリティの導入	基本方針5 続ける	施策11. 観光客向けの楽しみ方やモデルコース等の発信		取組㉒：観光客に向けた情報媒体の制作やモデルコースの構築
		取組⑪：レンタサイクルの拡充				取組㉓：「暮らすような旅を楽しめるまち／世界水準のウェルネス・カルチャーリゾート南城市」のプロモーション
	取組⑫：自転車観光の推進に必要な人材やサービス・設備等の導入	取組㉔：継続的な利用実態やニーズ調査				
施策6. 自転車観光の推進	取組⑬：観光ピーク期におけるパーク&ライドの実施	取組㉕：観光交通をオペレーションする組織や体制の構築				
施策7. 観光パーク&ライドの実施						

* 今年度は、赤字（取組⑨⑩⑪）のモビリティ導入の実証を進めている。また関連して青字の計15の取組についても部分的に遂行するなど実施計画を推進している。

4. 南城市観光交通実施計画に基づいた実証実験 – 今年度の取組 –

実証実験の概要



沖縄・南城
スローモビリティ

今年度は、策定した観光交通実施計画に基づき、「沖縄・南城スローモビリティ」をプロジェクト名とし、観光客のラストワンマイルの移動を支援し、観光客の市内周遊を促進する観点からを一定期間導入する実証実験を行っている。

また、期間中は那覇空港から南城市までの直行バス（無料）を運行し、レンタカーを使用しない南城観光を促進・PRしている。

- ◆ 導入しているモビリティ：小型モビリティ（計6台）、グリーンスローモビリティ（EVカートが常時2台運行）、レンタサイクル（電動アシスト自転車：計12台、折りたたみ自転車：計8台）
- ◆ 実証期間：2020年10月26（月）～12月27日（日）
- ◆ 設置場所：南城市内の主要な4拠点（がんじゅう駅・南城、新原ビーチ、奥武島、南城市役所）

	小型モビリティ	折りたたみ自転車	電動アシスト自転車	EVカート
利用時間	10:00～18:00			
形態	レンタル（短時間の利用も可）			送迎（7人乗り）
予約・支払方法	●オンライン予約（当日の予約も可能） ●支払いオンライン決済（クレジットカード）			予約不要
ご利用方法	レンタルスポットで受付、貸出、返却（乗り捨て不可）			先着順で乗車 奥武島まいいゆ市場～新原ビーチ～ヤハラツカサ間を概ね60分間隔で運行（金・土・日・祝など曜日限定）
	レンタルスポット ・南城市役所 ・がんじゅう駅	レンタルスポット ・南城市役所 ・がんじゅう駅	レンタルスポット ・がんじゅう駅 ・新原ビーチ ・奥武島まいいゆ市場	
料金（実証価格）	1日1,500円		1日500円	無料

利用者からの声（予約サイトへの口コミ） ※一部記載

- ◆ 小型モビリティは、通常の車では行けないような細い道路も難なく通過し素晴らしい景色を堪能できた。風を感じながら走るの最高だった。
- ◆ 渋滞もなく、信号も少ない南城市だからこそ、小型モビリティは楽しめる。
- ◆ EVカートは、のんびり南城を観光するのに適していると思った。
- ◆ 電動アシスト自転車ですごく楽に坂道を登ることができ、とても便利だった。
- ◆ Nバスとモビリティを活用して1日でたくさん楽しむことができた。スローモビリティを使用したら、より南城市の旅が良いものになると思った。
- ◆ 空港・那覇市街地から南城市までのシャトルバスは大変便利だった。



今後の展開

以下の効果検証を行い、利用者の動態や移動利便性、観光満足度などから課題等の整理を行うとともに、実証後の運行方法、運行体制等の継続スキームについて、市内関係者やモビリティ事業者等による関係者会議を開催し、検討していく。

- ①利用者数把握調査：購入時に利用者の基礎情報記入を依頼することで属性ごとの利用者数を把握
- ②動態分析調査：レンタサイクル、小型モビリティについて、GPSを設置し、利用者の動態把握を実施
- ③利用者アンケート調査：利用者に対し感想・意見等を把握するためにWEBアンケートを実施
⇒基本属性、利用目的、満足度、利便性、価格の妥当性、改善点等を把握